

施策マネジメントシート

施策名	行政評価 施策体系	スポーツ・レクリエーションの推進	施策 統括課	生涯学習課	氏名	津田 智宏
政策名		ひとが生きる・暮らす	施策 関係課	予防・健康担当、環境政策課、国体推進担当		

1 施策の目的と指標

<p>対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等</p> <p>・市民</p>	➔	<p>対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>エ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	人口	人	イ			ウ			エ					
名称		単位																		
ア	人口	人																		
イ																				
ウ																				
エ																				
<p>意図(対象をどう変えるのか)</p> <p>・スポーツ・レクリエーションを楽しみ健康増進に結びつける</p>	➔	<p>成果指標(意図の達成度の指標) 数字は記入しない</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>日常スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>エ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>オ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	日常スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	%	イ			ウ			エ			オ		
名称		単位																		
ア	日常スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	%																		
イ																				
ウ																				
エ																				
オ																				

2 第2次基本計画期間(平成23～27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
機会や場の提供	市内の高校・大学等の体育施設との連携を継続します。多種多様な事業を展開するため、くにたち文化・スポーツ振興財団や国立市体育協会等との連携を図ります。年齢・体力等に応じたスポーツのPRや事業の実施により、誰もがスポーツに親しめるよう努めます。
指導者の発掘・活用	地域の学生やスポーツ経験者等を指導者として活用し、交流を通じて地域コミュニティにおけるスポーツ・レクリエーション振興に努めます。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

		単位	数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
		対象指標	ア	人	見込み値								
実績値	73,563				73,803	74,251	74,329	74,432	74,265				
イ	見込み値												
	実績値												
ウ	見込み値												
	実績値												
エ	見込み値												
	実績値												
成果指標	ア		%	成り行き値				50.4	50.4	50.4	50.4	50.4	50.4
				目標値				51.4	52.4	53.4	54.4	55.4	56.0
			実績値	48.0		50.4	49.0	46.7	49.2				
			基本計画における 施策の目標設定の根拠				第2回国立市市民意識調査において、地域別で最も高い水準であった泉地域の55.8%を超える数値を全体として目指すことを目標としました。						
	イ	成り行き値											
		目標値											
	ウ	成り行き値											
		目標値											
	エ	成り行き値											
		目標値											
	オ	成り行き値											
		目標値											
基本計画における 施策の目標設定の根拠													
事務事業数				本数	13	13	13	12	12	13			
施策 コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円									
			都道府県支出金	千円		7,183			20,905	20,557			
			地方債	千円									
			その他	千円						21,696	5,000		
			一般財源	千円	170,504	158,077	162,041	159,972	161,131	200,509			
	事業費計(A)	千円	170,504	165,260	162,041	159,972	203,732	226,066	0	0	0		
人件費	延べ業務時間	時間	3,191	2,943	3,350	3,170	3,020	14,110					
	人件費計(B)	千円	10,810	9,450	11,455	10,540	9,895	42,150					
トータルコスト(A)+(B)				千円	181,314	174,710	173,496	170,512	213,627	268,216	0	0	0

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

・スポーツ・レクリエーションは、生きがいづくりや健康づくりに大切であるばかりでなく、地域間交流や世代間交流の推進、地域コミュニティの活性化、地域イメージの向上などの面からも大きな役割が期待されている。
・市では、子どもの体力の向上、成人・高齢者の健康の保持及び精神的ストレスの解消のため社会体育事業として、くにたち文化・スポーツ振興財団と連携しながらスポーツ・レクリエーションの振興に努めている。しかしながら、利用可能施設に比して、利用者が飽和状態であるのが現状である。
・54年ぶりに東京で国体が開催され、スポーツに親しむという観点からも大きなイベントである。今年の11月にリハーサル大会が行われ、当市ではウエイトリフティング競技を実施する。大会運営には体育協会を始め、様々な団体、関係者の協力が不可欠となる。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・スポーツ施設を利用したいが埋まっているため利用できないとの苦情がある。
・スポーツ施設の予約をインターネット上で行いたいとの要望がある。
・国体について、市民に事業周知し、大会を盛り上げ、成功させるよとの声が上がっている。

5 24年度の評価結果

(1) 24年度行政経営方針の取組状況

24年度行政経営方針	取組状況
市民の健康づくりだけでなく、地域間交流や世代間交流、コミュニティの活性化にもつながるような事業を展開する。 また、平成25年度開催のスポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会)の準備を進めていくとともにプレ大会を開催する。さらに、これを契機として、施設整備を行うとともにスポーツ・レクリエーションに親しむ意識の醸成を図る。	・財団の事業を含め、小学生から高齢者までを対象とした社会体育事業を実施している。 ・保健センターでは、オリジナル体操の普及・拡大及び健康ウォーキングマップ作成・普及事業を行っている。 ・利用料については、平成21年10月よりテニスコートの利用料の見直しを行ったが、その他の施設については見直しに向けて検討を行った。 ・体育協会の協力を得て、大会派遣や連盟加盟の補助金助成を行う等のスポーツ団体育成を実施している。 ・平成25年度に開催される国体の本大会に向けて、国立市実施本部や関係団体と十分協議し、リハーサル大会への万全の準備を図った。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標値達成度(目標値と実績値との比較)

成果指標ア (日常スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合)

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標イ ()

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標ウ ()

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標エ ()

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標オ ()

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下)

B:成果がどちらかと言えば向上した

他自治体との成果の比較 A(かなり高い)~E(かなり低い)

C:他自治体と比べてほぼ同水準である

背景として考えられること

及び については、平成23年度は東日本大震災の発生により、スポーツイベントの中止や夜間貸出の休止などスポーツ・レクリエーションを行う場が減少したが、平成24年度は改善されたことが要因と考えられる。

他自治体と比較し、実施事業数が多い半面、施設の充実度は同程度かやや低い水準である。

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

・各スポーツのリーダーの資質向上を図るための、指導者講習会が不足していた。
・学校開放の利用者調整方法に課題が残った。
・利用料について、平成21年10月よりテニスコートの利用料の見直しを行った。その他の施設についても見直しを検討している。

6 施策の課題・今後の方向性

・市内の大学、高校等の体育施設が活用できるように連携を図っていくことが課題である。
・誰もが利用しやすいよう、インターネット等で施設予約を行えるようにしていくことも課題である。
・地域におけるスポーツ・レクリエーション活動を振興させるため、市内の指導者等を増やすことが課題である。
・国体の本大会の成功に向けて、リハーサル大会における課題を整理し、より一層の市民への周知、PRしていく。
・夜間、サッカー等を行うため、第三中学校に夜間照明の設置に関する陳情が採択され、平成27年度の照明設置に向けて準備している。